

# 出逢いの街 プラーカ新潟

## 4月28日オープン

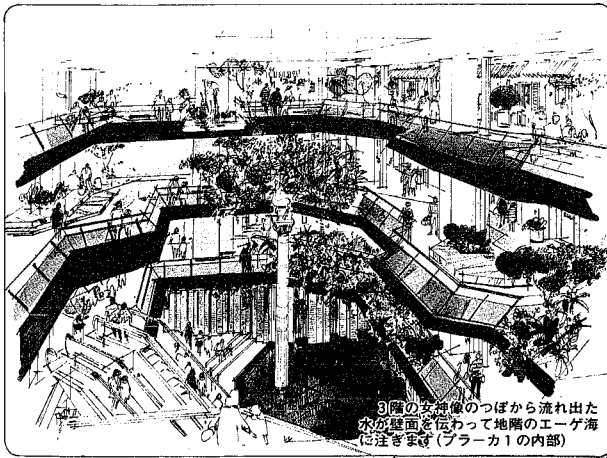
「今日の待ち合わせは、ギリシヤ？ イタリア？ それともスペイン？」—こんな恋人同士の会話が交わされる日も、もう間近。

四月二十八日に、新潟駅南口に新しい街「プラーカ新潟」が誕生します。「プラーカ」とは、ギリシヤ語で「人が集まる場所」という意味。「この日、ギリシヤのエネルギーレストラン、ファッショナル・イタリアのナポリの雰囲気、深うプラーカ2、ヤングファッションタウン、スペインのバルセロナを思わせるプラーカ3（食品、インテリア、クリニッ）の三棟がオープンします。

プラーカ1には、地階から三階へ続く大きな吹き抜けがあり、さまざまな趣向が凝らされています。

このほか、プラーカ各棟には、二十四面の映像で構成されるマルチビジョンや各棟を地階で結ぶ海の回廊など、遊びの空間がいたるところに演出されています。

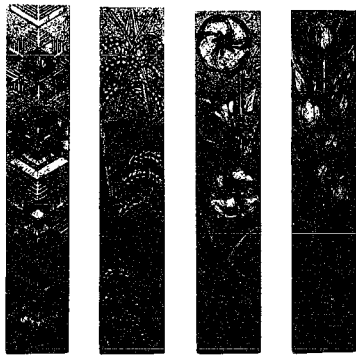
四月二十八日、新しい出逢いがプラーカ新潟で生まれます。



3階の大海線のつばから流れ出た水が壁面を伝って地階のエーゲ海に注ぎます (プラーカ1の内部)



左から順にプラーカ1、2、3



新潟の四季を表す千歳大橋の欄干のレリーフ

## 千歳大橋も5月開通

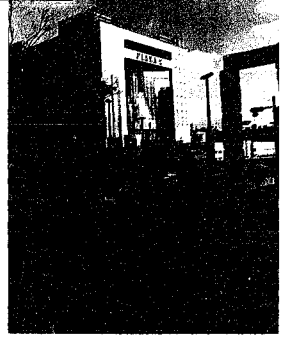
### 水と緑のロマンチックロード

「咲いた咲いたチューリップの花が、ななて歌を歌いたくなるような橋が、五月下旬、新開行わきに開通します。

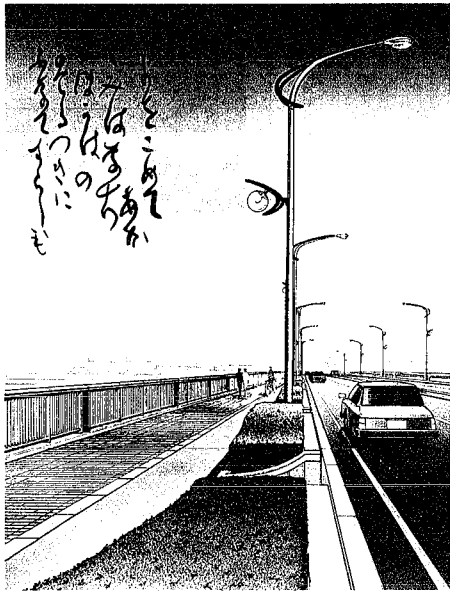
欄干にはチューリップ、マツヨイグサ、稲穂、雪の結晶のレリーフが取り付けられ、歩みながら新潟の四季の移り変わりが楽しめます。

いままでの機能一点張りの橋のイメージを打ち破り、「文化のための一システム」を取り入れて市が造っているのが、この千歳大橋。

欄干以外にも、かん木の植え込み、信濃川を泳いだ川村奉行と会津八一の歌碑、グミヤスズメなど市民歌砂浜での歌詞をモチーフにした透かし彫りを取り付けた半円のパ



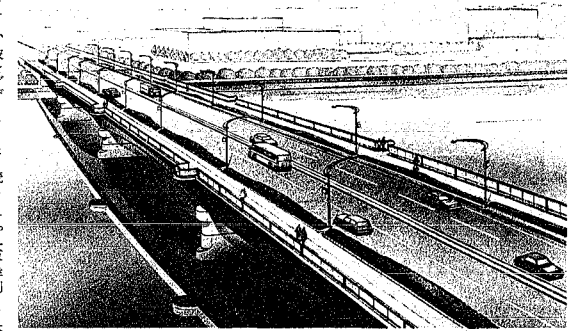
姿を現したプラーカ2。新潟駅南口に新しい出逢いの場が...



会津八一の歌(左上)と波をデザインした照明灯

ルコニー、波をデザインした親柱と照明灯など、歩くのが楽しくなるような工夫が施されています。

この橋を南へ行くと桜木インターにつながり、将来さらにその南側で、東北横断自動車道(新潟1い)にも接



グリーンベルトとバルコニーが特徴の千歳大橋 (4車線開通時の完成予想図)

## 謹賀新年

昭和六十年 元旦

新潟市議会議員  
市民クラブ  
議長

- 無所属
- 民社党議員団
- 公明党議員団
- 共産党議員団
- 社会党市民連合 副議長

早波石田佐島真新古土佐淵今洪山佐須内小服細滝羽山阿大黒田川小水渡松野伊藤藤若川橋伊奈仁丸高氏小大平村  
福辺垣中木田島保川屋木田井谷田野田林部野沢田田部和田村島石野辺原沢塚塚卷林島本藤藤見山野田山野田  
繁義正 利博俊ヨ明修誠 洵 信 正秀武夫吉 重光幸悖藤寛 仁キ忠 定一富 徳 勇一  
卓棋茂実茂雄郎樹久信英夫イ治一清子進吾博雄男雄一男正清信夫作夫衛郎実郎ソ蔵勝仁稔彦彦一進一久甚郎